

ごあいさつ

保坂三郎

財団法人 熱帯海洋生態研究振興財団理事長

財団法人熱帯海洋生態研究振興財団 (ETMER) の現地研究部門として沖縄県那覇市より約 40 キロ西方にある慶良間列島の阿嘉島に設立された阿嘉島臨海研究所 (AMSL) は、海とふれあい、自然と遊びながら、サンゴ礁をめぐる海洋生物に関する科学研究や、熱帯、亜熱帯水域の水産増養殖の研究、沖縄の海についてのセミナー等、夢の多いスタートを切りました。当初からの希望でありました機関誌の発行が平成 2 年 9 月創刊と決まり、ますます期待が膨らみます。国内、国外の研究者や興味のある方々に参加してもらいながら、海の研究をいっそう推進できるように活動していきたい。と同時に、その足跡を残す為には、阿嘉島臨海研究所の報告が機関誌としてまとめられ、いつまでも続けられていく事が大切であり、その事も、当財団の責務であると思います。

近年は、地球温暖化についての話題をよく耳にするようになり、それにつれて環境問題がクローズアップされ、環境保全に関して各界からの関心が集まっているようです。美しい水の惑星である地球で、もう一度われわれ人間の姿を見つめ直すには、大変恵まれた場所にあるのが阿嘉島臨海研究所であります。常駐スタッフと共に毎年繰り返される自然の営みを見つめながら、関係者の方々のご協力の下で運営されています。今後も多くの方々の研究活動と共に阿嘉島の自然を報告していきたいと思っておりますのでなお一層のご助力とご助言をいただけますようお願いいたします。

